

# 中期財政見通し

(令和3年度～令和10年度)

【ダイジェスト版】

令和3年10月

登別市

# 目次

1.はじめに .....	1
2.当市財政の現状 .....	2
3.見直しにあたっての基本的考え方 .....	5
4.中期財政見通し .....	6
5.市役所本庁舎建設事業について.....	15
6.今後の財政運営について .....	16

# 1. はじめに

## 中期財政見通しとは

- ▶ 市税や交付税などの歳入試算や、今後実施する施策などを盛り込んだ歳出試算を作成し、中期的な財政収支の見通しを明らかにするもの

## 登別市の中期財政見通し

- ▶ 4年毎に計画期間を8年間とした見通しを策定しており、前回は令和2年10月に令和3年度から令和10年度を計画期間として策定したが、新型コロナウイルス感染症の影響や、北海道の津波浸水予測図の見直しにより市役所新庁舎建設事業の実実施スケジュールの決定を1年先送りしたことから、今回見直しを行う

## 中期財政見通し作成の目的

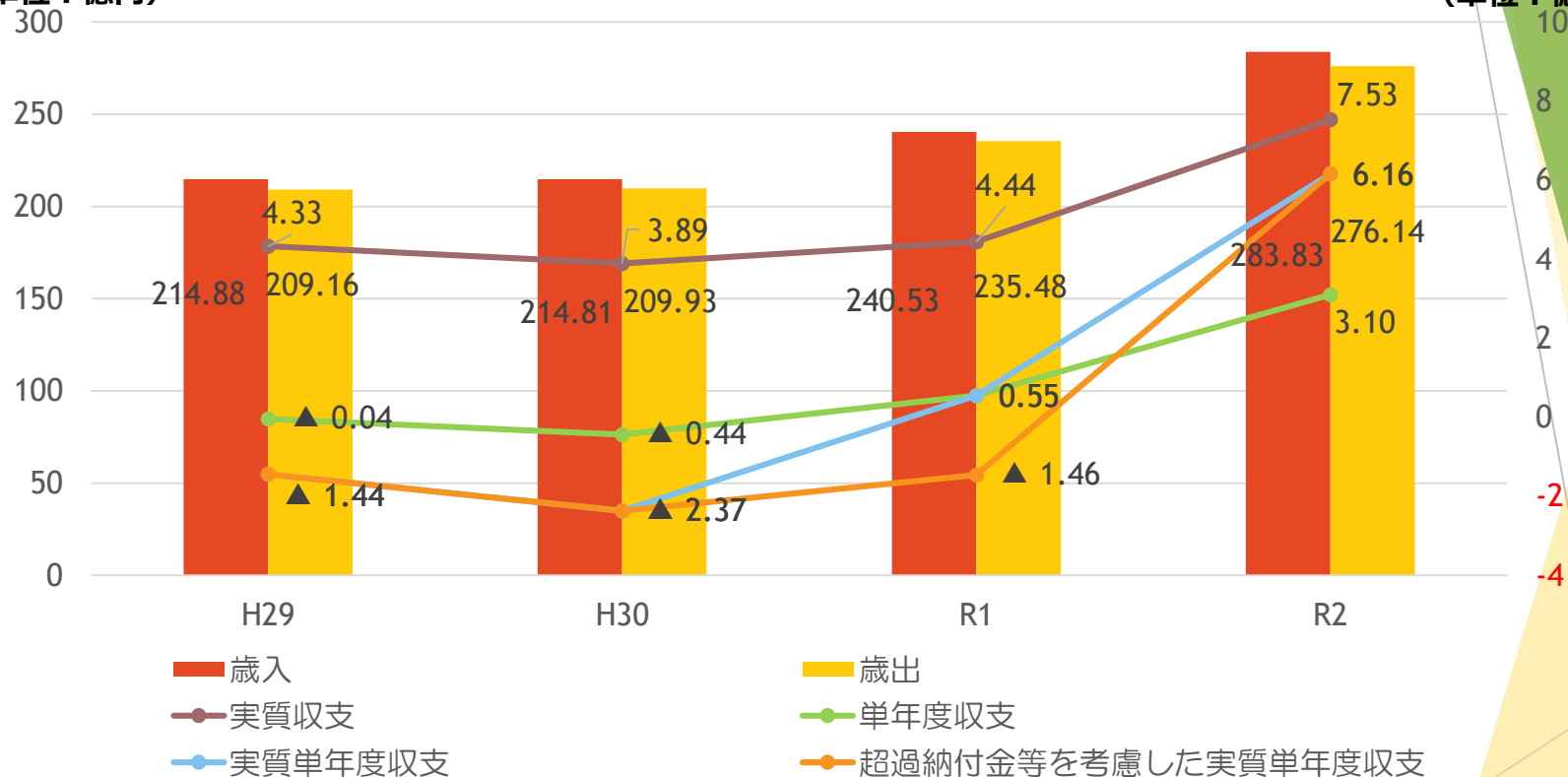
- ▶ 総合計画に位置付けた施策や「大型事業推進プラン」など他の計画で予定された事業の実施にあたっての財源的な裏付けや検討を行うため
- ▶ 計画的かつ安定的な財政運営を行うため
- ▶ 財政健全化に向けた取組策を検討するため
- ▶ 市民の皆様に行財政運営への理解を深めてもらうため

## 2. 当市財政の現状①

### 過去4年間の財政状況 —各種収支の推移—

(単位：億円)

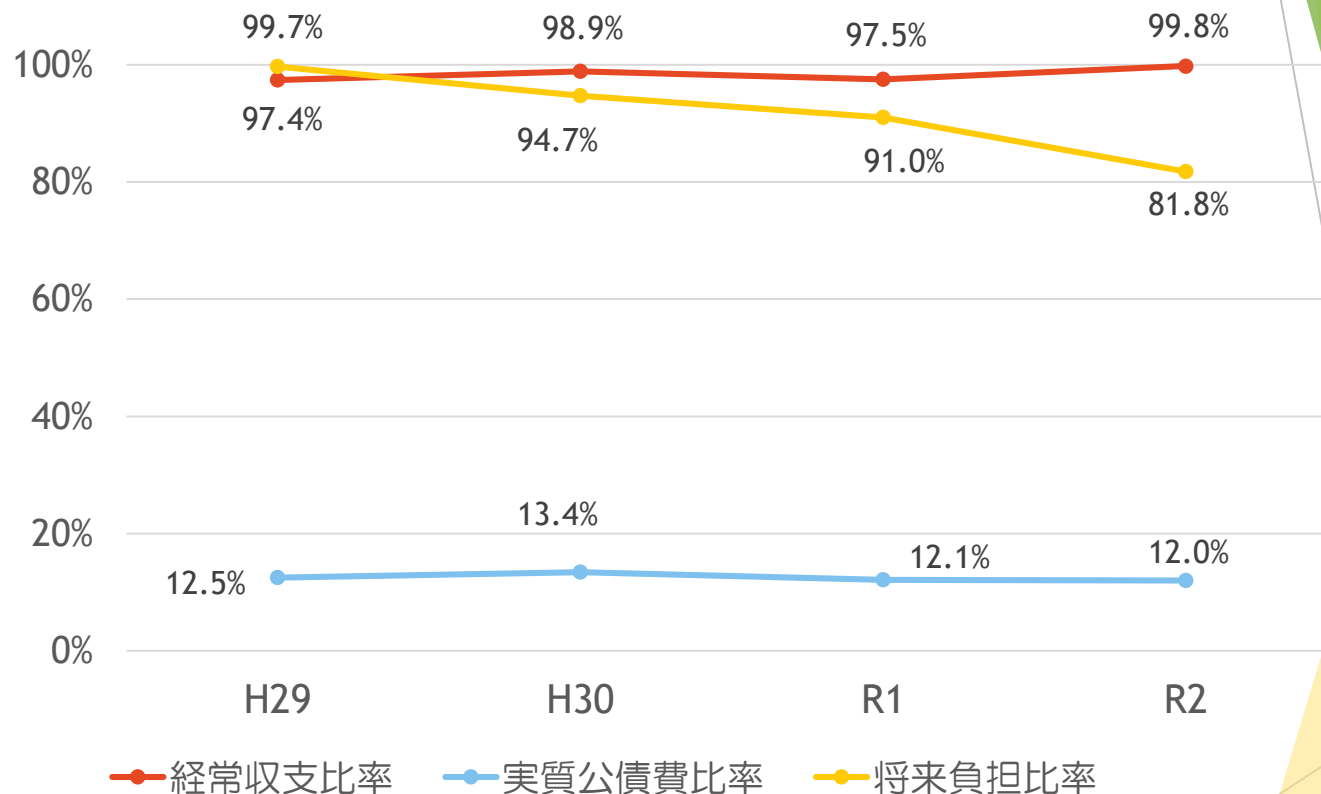
(単位：億円)



- 平成30年度まで実質単年度収支は3年連続の赤字
- 令和元年度にプラスに転じるも、備荒資金組合超過納付金等を考慮すると1.46億円の赤字で4年連続の赤字
- 令和2年度は6.16億円の大きな黒字に転じた

## 2. 当市財政の現状②

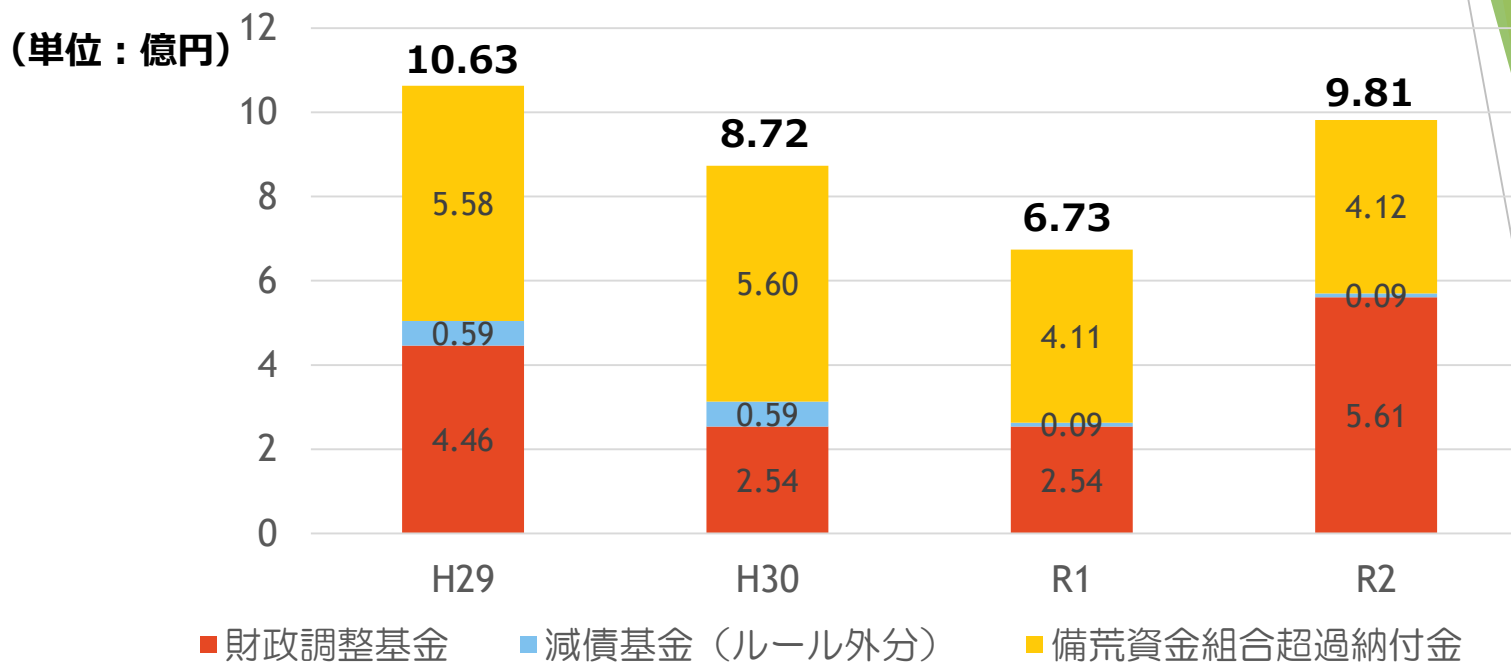
### 過去4年間の財政状況 —財政指標の推移—



- 経常収支比率 市税の減などにより令和2年度は大きく悪化
- 実質公債費比率 公債費の減などから改善傾向で推移
- 将来負担比率 市債残高の減などから改善傾向で推移

## 2. 当市財政の現状③

### 過去4年間の財政状況 —財源調整用基金等残高の推移—



- 平成28年度から4年連続取り崩しを行った結果、令和元年度に6.73億円まで減少。令和2年度には3.08億円の積み立てにより9.81億円まで増加するも平成29年度と比較すると0.82億円の減

10億円目前である9.81億円まで回復するも、経常収支比率は依然100%に近く、財政の硬直化が続いていることから、見直しを行う中期財政見通しに基づき更なる財政の健全化を！

# 3. 見直しにあたっての基本的考え方

## (1) 試算の範囲

(対象会計) 普通会計（一般会計及び学校給食事業特別会計）

(期 間) 令和3年度～令和10年度（現見通しと同期間）

## (2) 試算の前提

(制 度) 歳入歳出ともに現行制度が継続することを前提に試算

(人口動態) 国立社会保障・人口問題研究所の推計を基礎として試算

(一般財源等) 人口推計や過年度実績、骨太の方針などを参考に試算

(投資的経費) 併行して見直しを行った「大型事業推進プラン」、「廃止施設等除却推進プラン」に登載した全事業費を計上したほか、プラン対象外事業についても、実施計画ローリングや過年度の事業実績などを踏まえ計上

## (3) 試算の方法

歳入歳出ともにこれまでの決算や予算などを基礎にできる限り個別に分析し、決算ベースとして試算

## (4) 収支の表示方法と財源不足の補てん

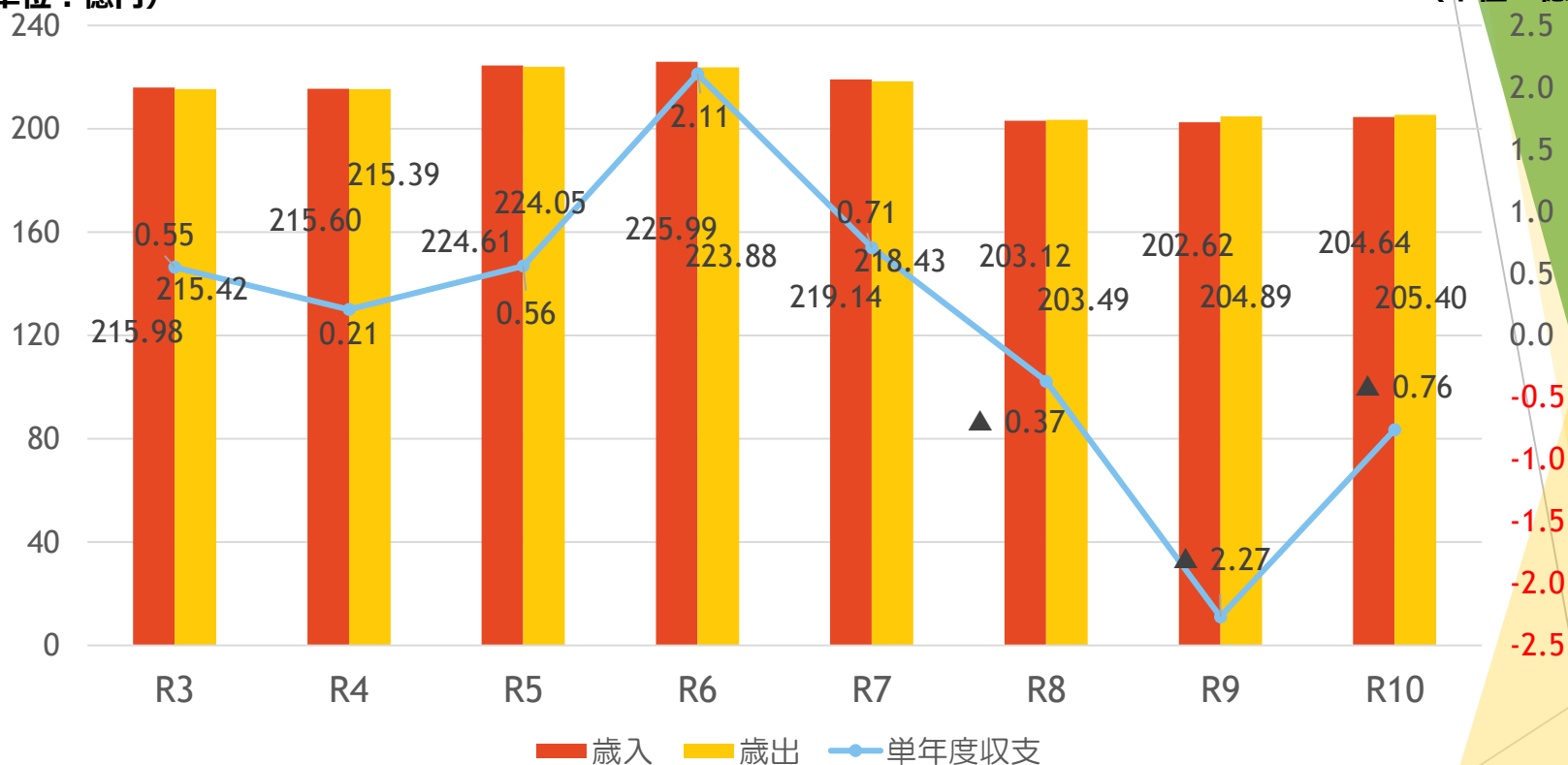
前年度繰越金を除く歳入歳出差引額（単年度収支）を表示し、単年度の財源不足額を財源調整用基金等からの繰入金で補てんする方法により試算

# 4. 中期財政見通し①

## 8年間の試算結果 -収支の見通し-

(単位：億円)

(単位：億円)



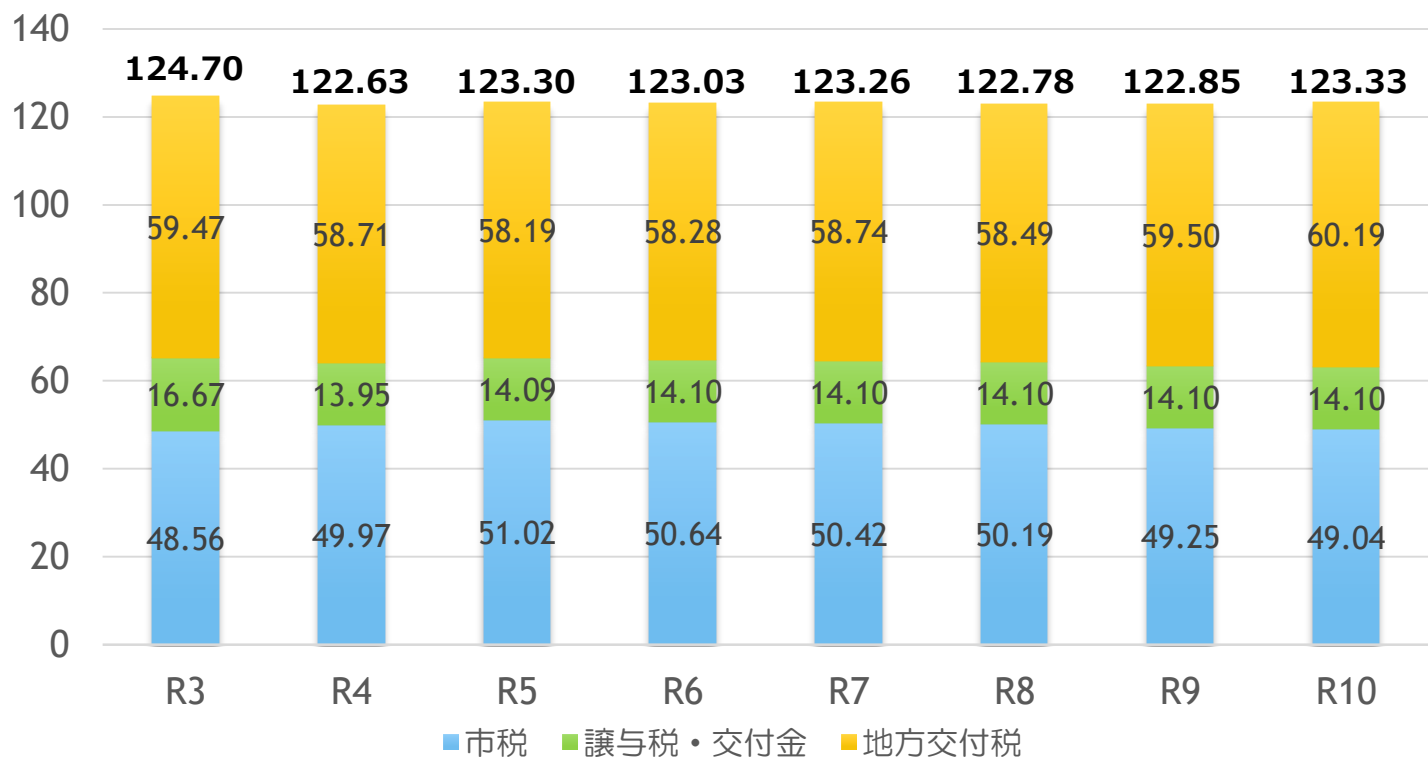
- 単年度収支は5年度で黒字、3年度で赤字
  - 市役所本庁舎や消防本部新庁舎の建設事業の実施により、歳出は令和7年度まで220億円前後で推移し、以降は200億円台で推移
- ➡ **8年間の累積収支は0.75億円の黒字**



## 4. 中期財政見通し②

### 8年間の試算結果 歳入 ー一般財源の見通しー

(単位：億円)



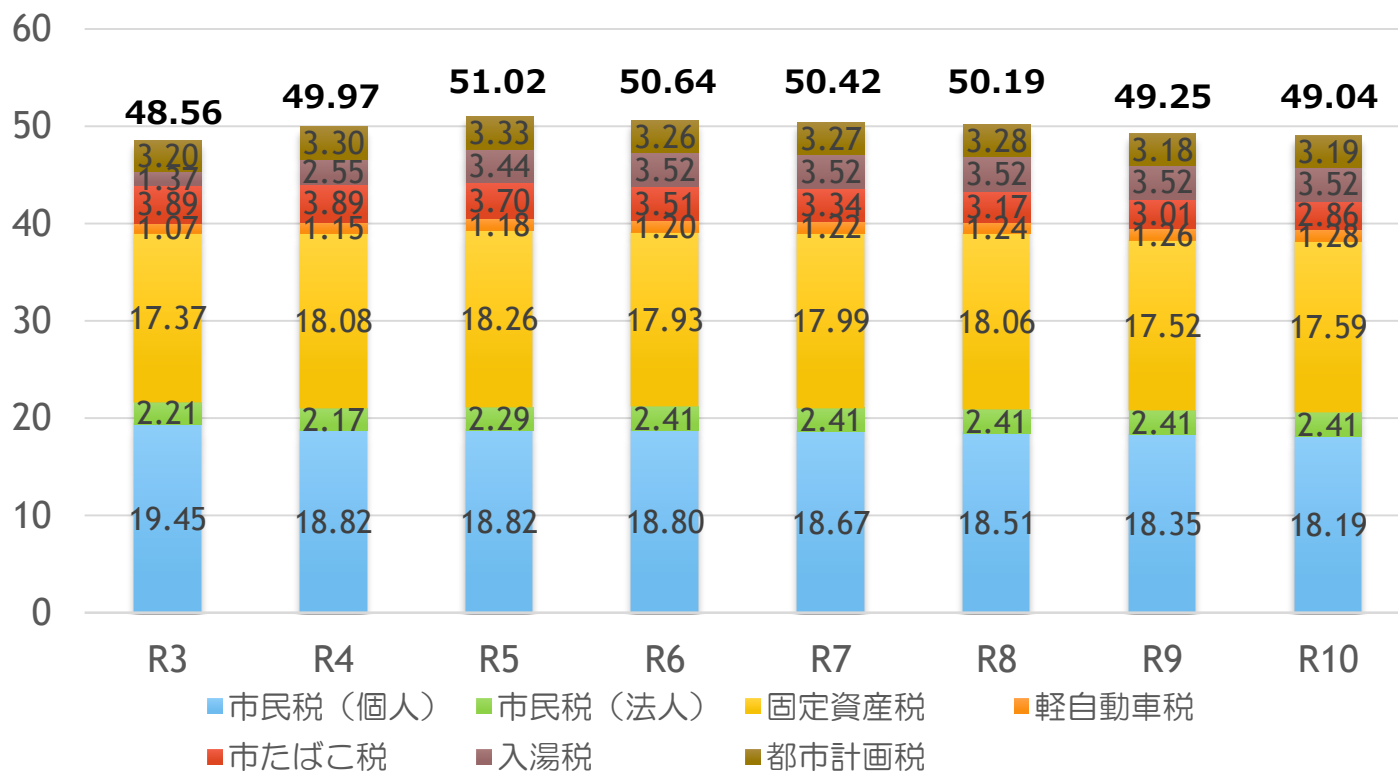
- 市税は令和3年度に大きく落ち込み、令和5年度まで回復傾向で推移するも、以降は再び減少傾向で推移し、地方交付税は令和3年度に増となったのち、減少傾向で推移するも、期間後半は増加傾向で推移

➡ 一般財源全体では概ね同水準で推移

# 4. 中期財政見通し③

## 8年間の試算結果 歳入 —市税の見通し—

(単位：億円)



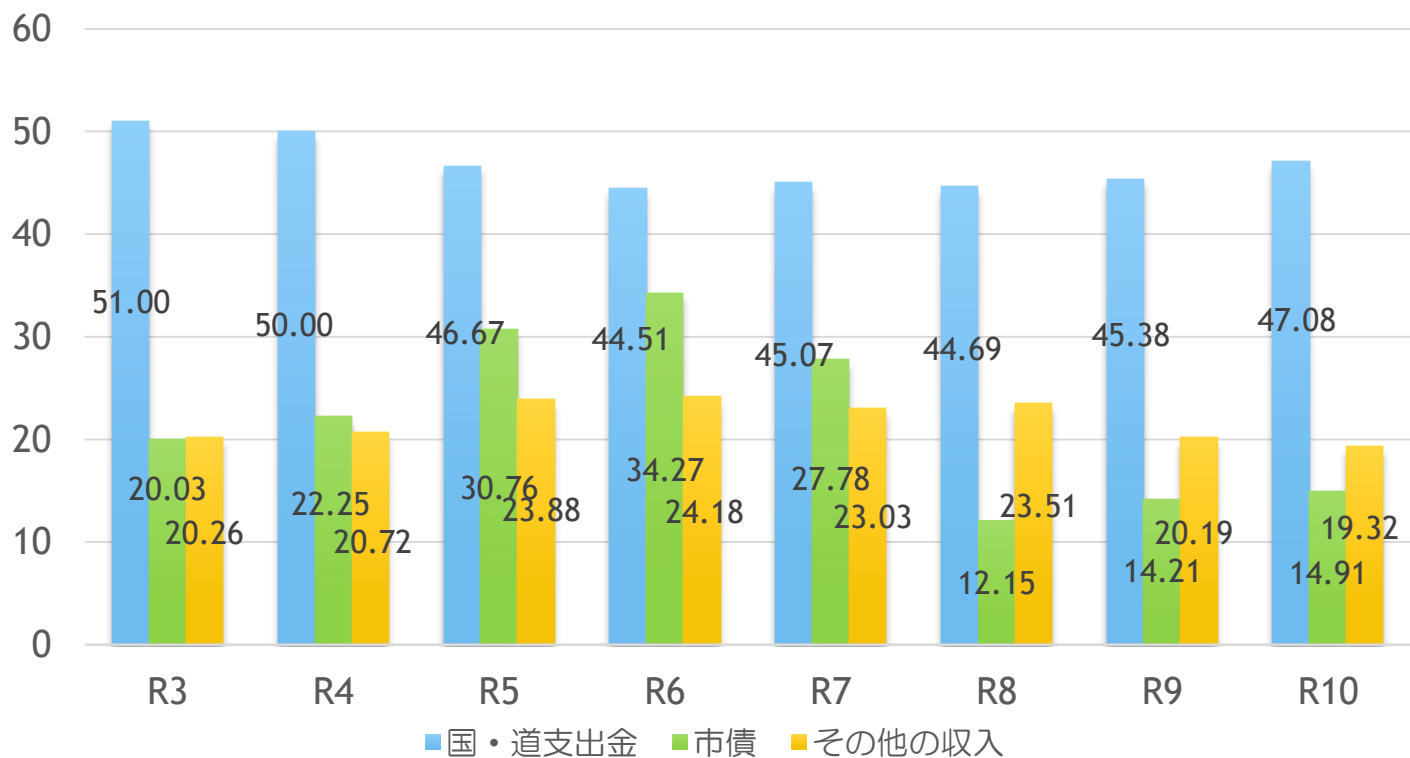
➤ 新型コロナウイルスの影響により令和3年度は固定資産税や入湯税を中心に大きく落ち込んだ後、令和5年まで増傾向で推移するも、以降は人口減少などの影響により減少傾向で推移



**新型コロナウイルスからの回復は令和6年度と見込む**

# 4. 中期財政見通し④

## 8年間の試算結果 歳入 ー国・道支出金、市債、その他ー (単位：億円)

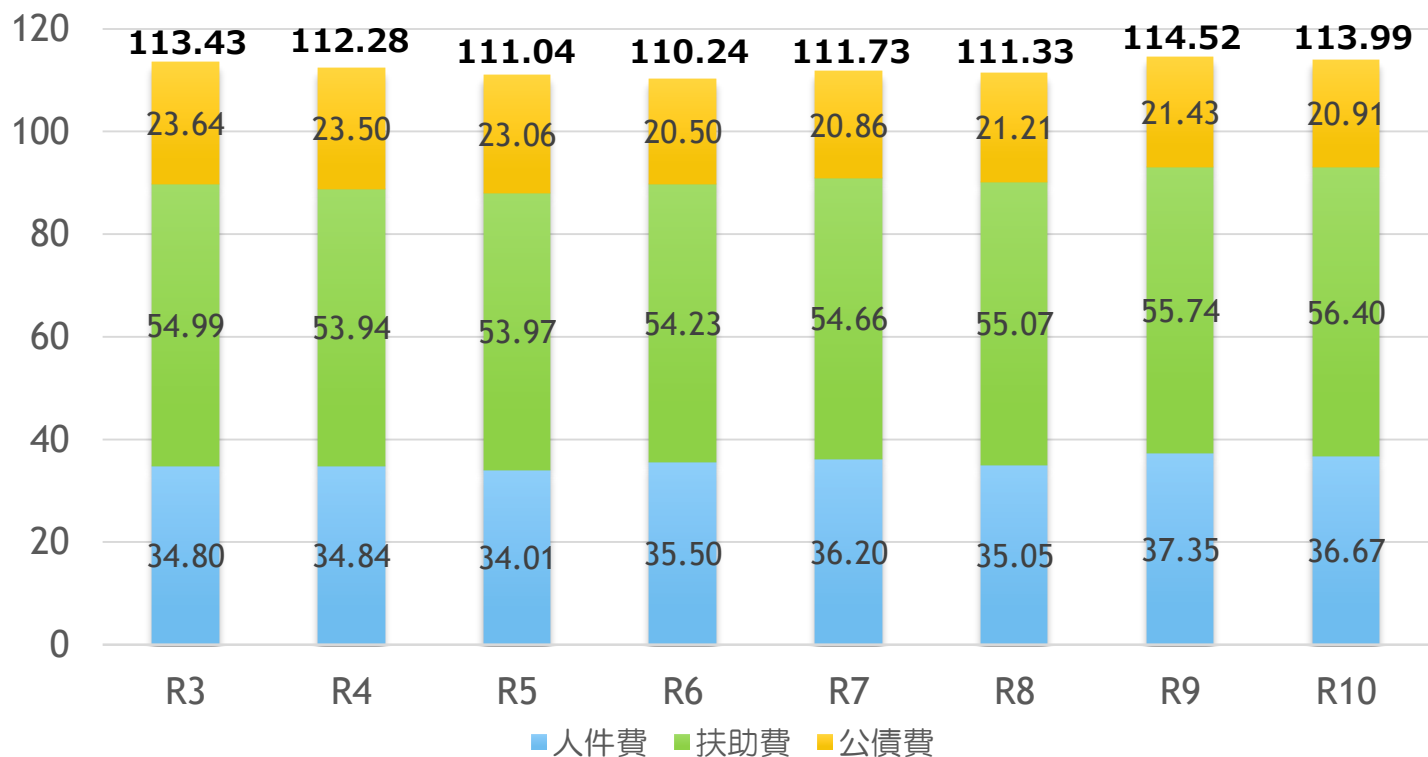


- 国・道支出金 千代の台団地建替により令和3、4年度に50億円台
- 市債 市役所本庁舎や消防本部新庁舎の建設事業により、令和5年度から令和7年度にかけて大きく増
- その他の収入 ふるさと納税は期間を通じ4.4億円前後を見込む

# 4. 中期財政見通し⑤

## 8年間の試算結果 歳出 —義務的経費の見通し—

(単位：億円)

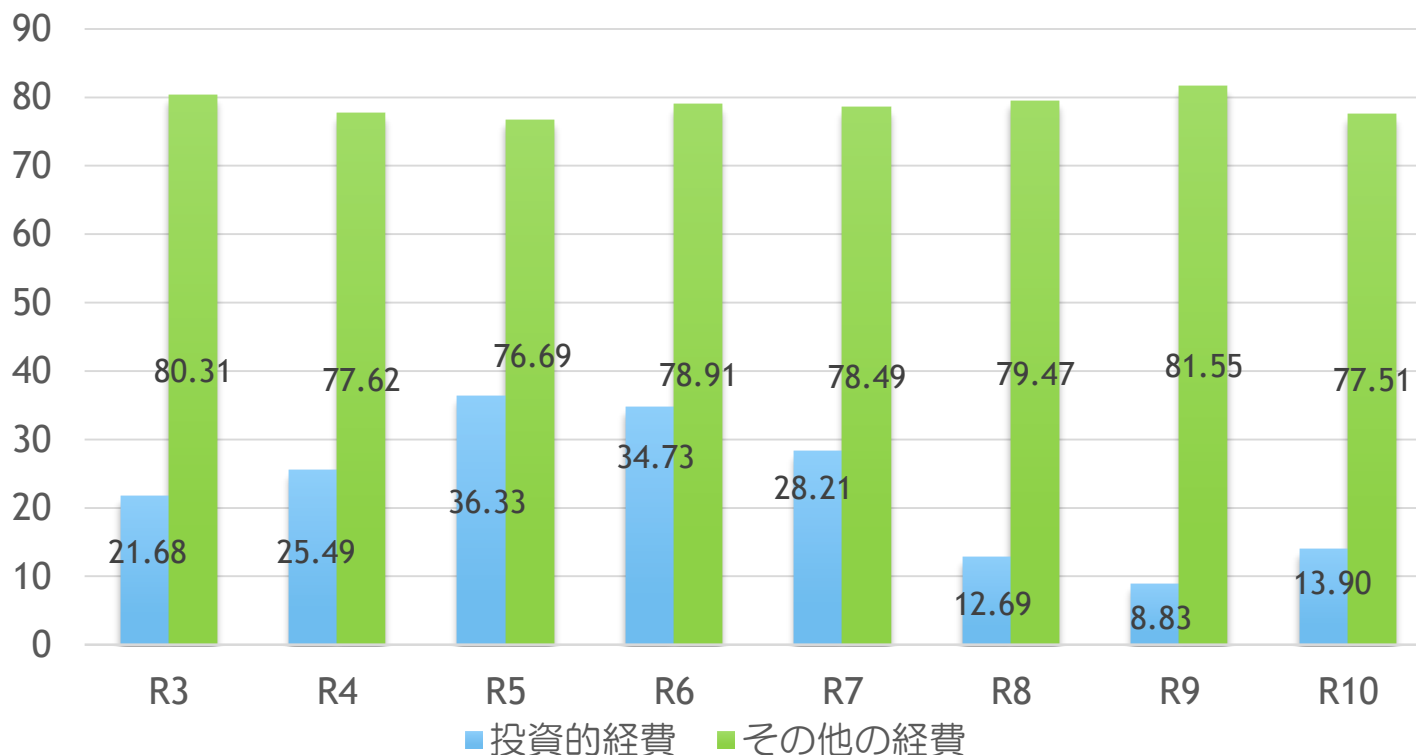


- **人件費** 退職手当による増減はあるものの、概ね同水準で推移
- **扶助費** 概ね増加傾向で推移
- **公債費** 土地開発公社解散時に借入れた第三セクター等改革推進債の償還が終了することにより、令和6年度に大きく減

## 4. 中期財政見通し⑥

### 8年間の試算結果 歳出 —投資的経費、その他—

(単位：億円)

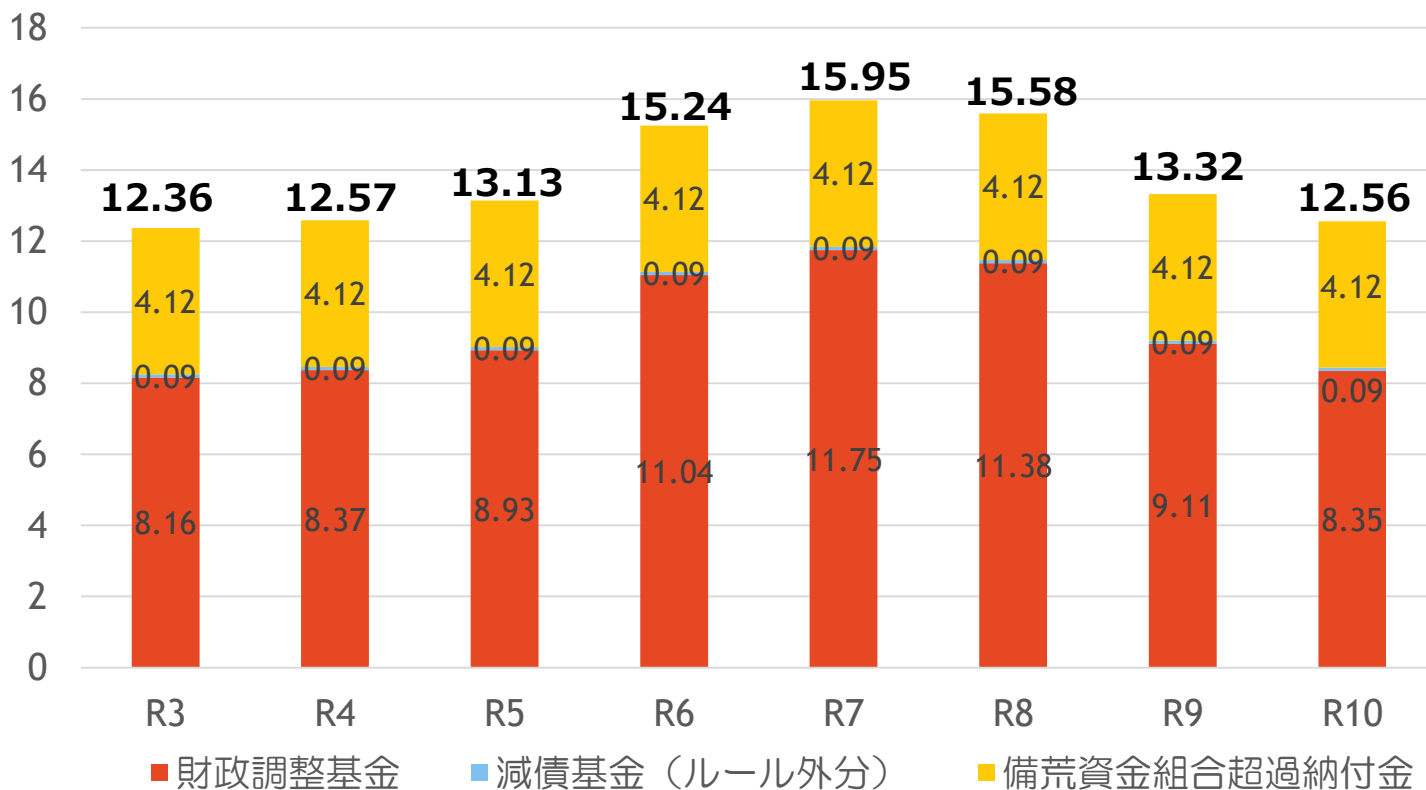


- **投資的経費** 令和3年度から増加傾向で推移し、消防本部新庁舎の建設が本格化する令和5年度から市役所本庁舎の建設が終了する令和7年度まで高水準で推移し、以降は大きく減
- **その他の経費** 現市役所本庁舎の除却により、令和9年度に大きく増

## 4. 中期財政見通し⑦

### 8年間の試算結果 –財源調整用基金等残高の見通し–

(単位：億円)

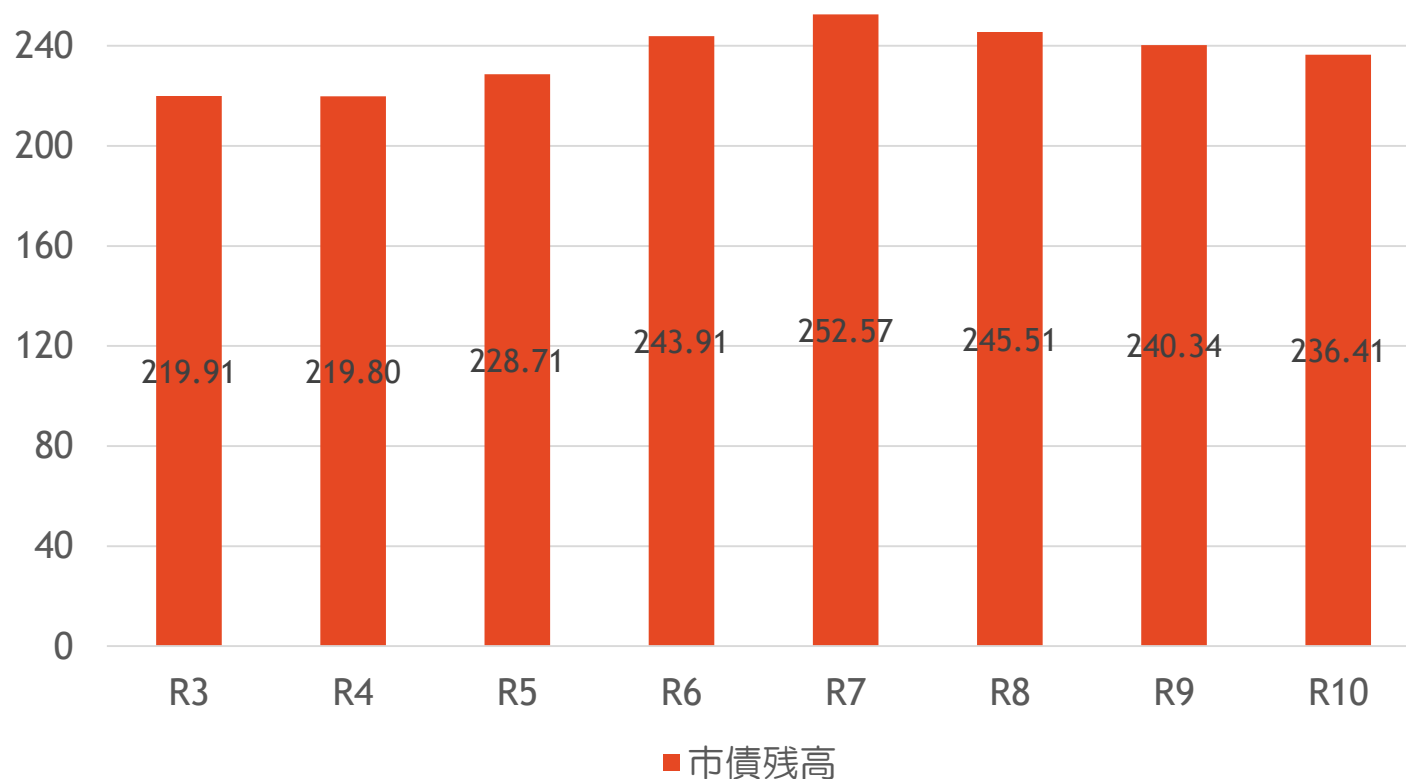


- 令和3年度に12.36億円となり、単年度収支の黒字が続くことから令和7年度には15.95億円まで増加するも、以降は市税の減などにより減少に転じ、令和10年度残高は12.56億円となる見込み

## 4. 中期財政見通し⑧

### 8年間の試算結果 –市債残高の見通し–

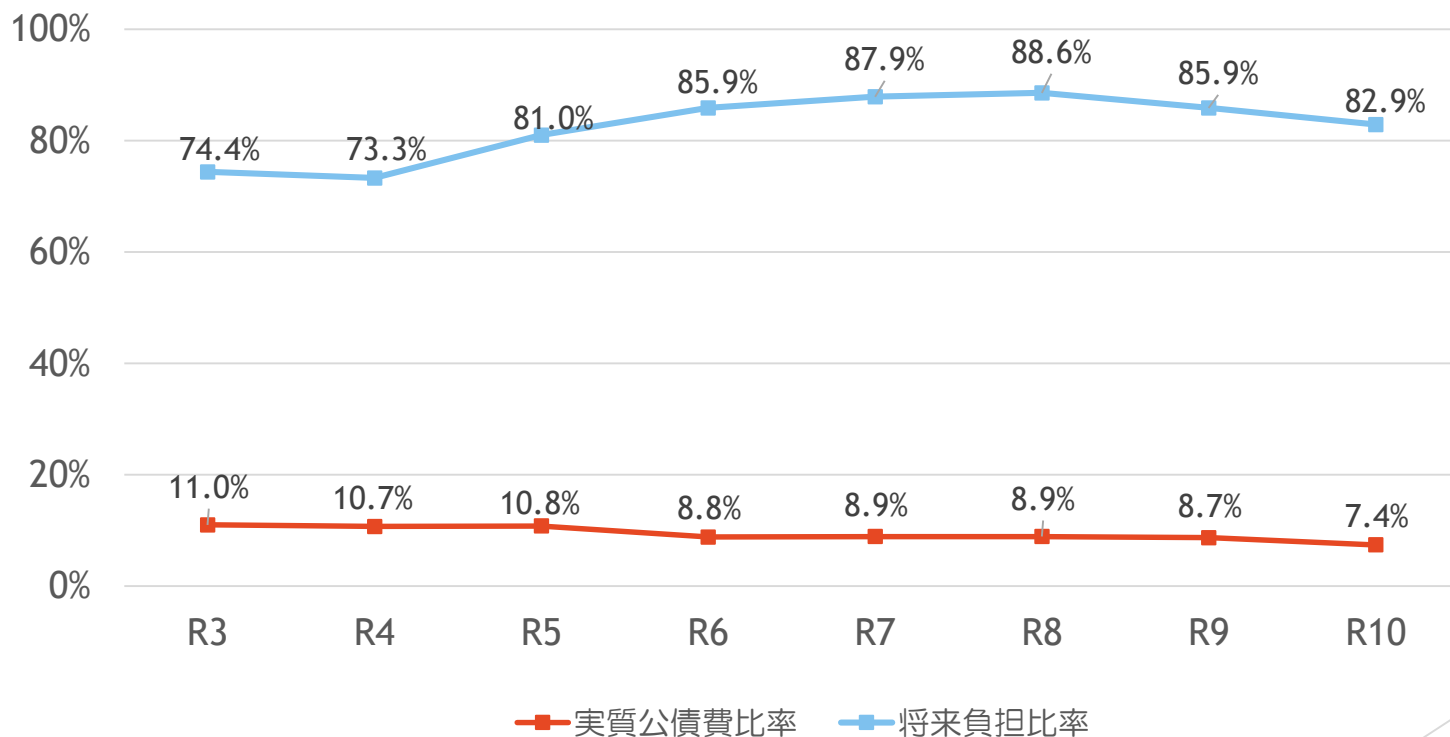
(単位：億円)



➤ 消防本部新庁舎の建設事業が本格化する令和5年度から市役所本庁舎の建設が終了する令和7年度にかけて増加傾向で推移。令和10年度残高は令和2年度末残高から14億円増の236.41億円となる見込み

## 4. 中期財政見通し⑨

### 8年間の試算結果 -財政指標の見通し-



- **実質公債費比率** 公債費の減少などから、概ね改善傾向で推移
- **将来負担比率** 消防本部新庁舎や市役所本庁舎建設時の市債の借入れなどにより令和5年度から令和8年度まで指標は悪化

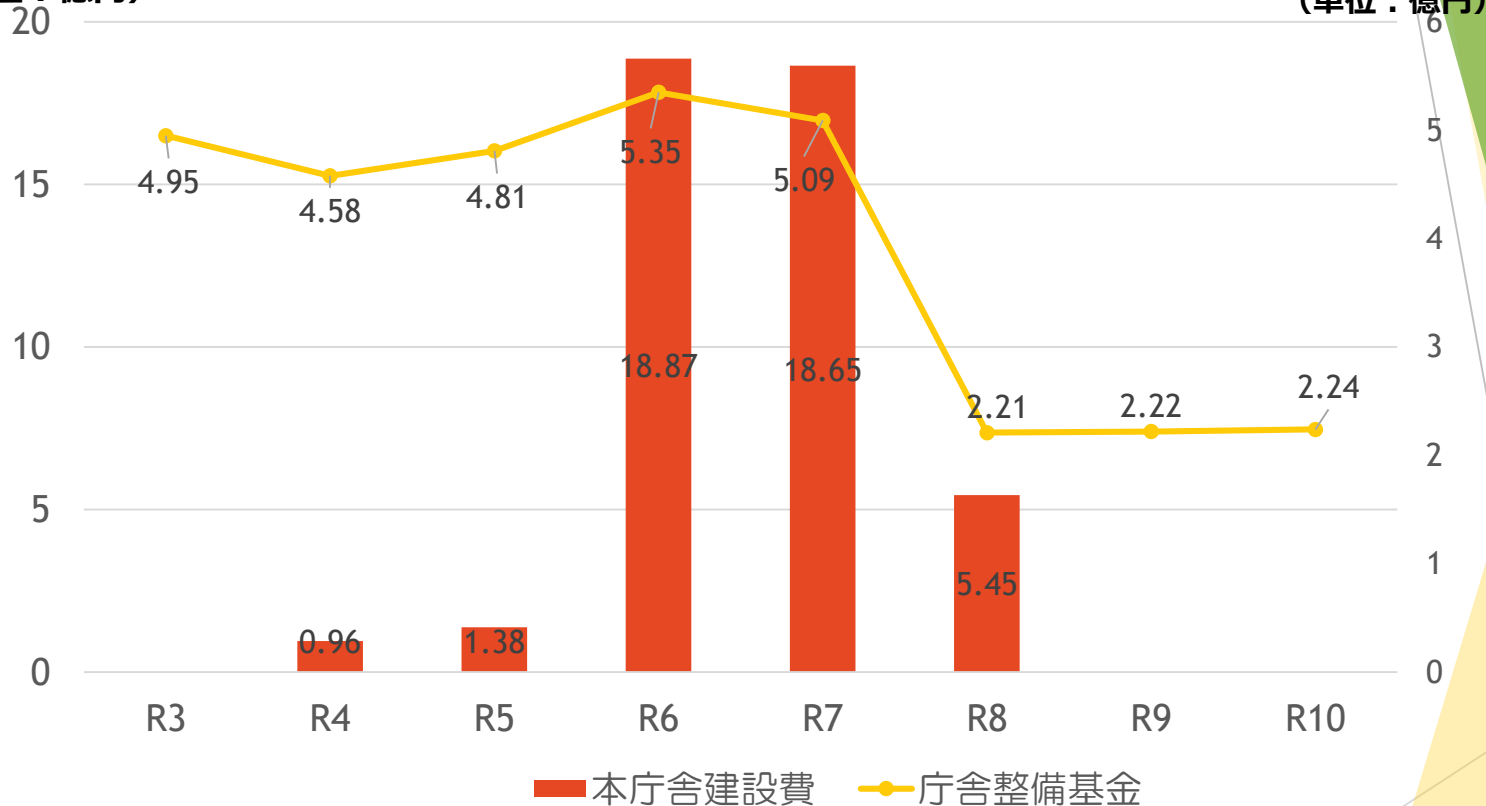


# 5. 市役所本庁舎建設事業について

## 建設費と庁舎整備基金残高 —本庁舎の見通し—

(単位：億円)

(単位：億円)



- 市役所本庁舎の総事業費は45.31億円と試算
  - 建物本体工事を令和7年度までに実施し、緊急防災・減災事業債を活用
- ➡ **緊防債と庁舎整備基金により一般財源持ち出し無しで実施可!**

## 6. 今後の財政運営について

### 今回見直しの結果

- 収支は**1.91億円改善**、期間中も**0.75億円の黒字**
- 期間を通じ財源調整用基金等の**残高10億円以上**を確保
- 市役所本庁舎も令和8年度の完成・供用開始に目途

しかし

- 期間後半は**3年連続の赤字**、令和11年以降も同傾向
- 他にも喫緊の大型事業が多く控える
- 新型コロナウイルスの拡大による**財政状況悪化の恐れ**

### 安定的な財政運営には

- **受益者負担の更なる適正化**
- **事務事業の見直しや、行財政改革の推進**
- **公共施設の除却や統廃合によるコスト削減、歳入の確保**